



2025 年 8 月 27 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

地方創生・国土強靱化に不可欠な新幹線を四国に！

四国新幹線整備促進期成会第7回東京大会に J R 連 合 も 参 画



過去最多となる約 700 名が会場に集結！

四国新幹線整備促進期成会は、8 月 21 日、東京都内にて第 7 回東京大会を開催し、1 年間にわたって取り組んだ「四国新幹線の早期実現を求める署名活動」の結果報告や 4 県知事による決意表明、整備計画への格上げ等を国に要望する決議採択を行った。

主催者を代表し長井啓介会長(四国電力取締役会長)は、人口減少社会において日本の活力維持に欠かせない地方創生や南海トラフ地震を見据えたレジリエンス向上の観点から四国新幹線が必須と説き、「頂戴した **45 万 2,038 筆** もの膨大な署名に込められた熱い想いを国に届け、早期実現を図る」との決意を示した。

本大会には、自民党整備新幹線等鉄道調査会の稲田朋美会長や日本経済団体連合会久保田政一事務総長、国土交通省国定勇人政務官、四国選出の「21 世紀の鉄道を考える国会議員フォーラム」加盟議員らとあわせて、J R 連 合 から上村良成会長、今井孝治事務局長、石川敏也産業政策局長も来賓として出席した。稲田会長は、自身が福井県選出で敦賀における北陸新幹線開業の整備効果を目の当たりにしたことに触れ、費用対効果や財源の議論に固執することなく、新幹線ネットワークを構築していくべきと述べ、四国新幹線実現に向けては「一歩を進めること」が重要と力強くアピールした。続いて来賓紹介では、上村会長が「労働組合も頑張ります！」と気を吐き、**24 万 5,798 筆を J R 連 合 として集約**した存在感を示した。



長井会長



稲田会長



来賓紹介で決意を述べる
上村会長(右)

J R 連 合 は、J R 四 国 の 経 営 自 立 に も 不 可 欠 な 四 国 新 幹 線 を 含 む 高 速 鉄 道 ・ 新 幹 線 ネ ッ ト ワ ー ク の 構 築 ・ 計 画 推 進 を 実 現 す べ く、引 き 続 き 活 動 を 展 開 す る。